



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985~'86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット

仲よく 語ろう ロータリー

第 390 回 例会 61 年 4 月 10 日 第 396 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
53 名	39 名	73.58 %	100 %

欠席者 (14名)

古川 橋本 神作 木村 熊倉 松崎 三浦
中西 岡本 大西 竹本 種ヶ島 寺田 辻

本日のプログラム 4 月 17 日

芦田敬治君 映画とお話 「人間と薬」

次 週 予 定 4 月 24 日

市川隆一郎氏 (国府実習学校長)
「非行少年の問題について」

司会 SAA 伊藤英夫君

ソングリーダー 北砂富三君「奉仕の理想」

《ゲスト》

趙南元氏 (中国留学生)

薩田信次郎君、横沢 創君、神沢啓一君

高山 明君 (大和青年会議所)

《ビジター》

小林秀次君 (神奈川東) 大田太郎君 (相模原西)

田形隆一君 木我 寛君 (横浜瀬谷)

宮田貞之君 (綾瀬)

星 幸男君 龜山 洸君 浜野忠良君

小森 侃君 斉藤 勝君 南雲浩一郎君

竹中滋治君 斉藤忠一君 (大和)

《会長報告》

・皆さん今日ワ。白い花吹雪の後は美しい緑の季

節にかかります。時は流れております。

今でこそ日中友好は当りまえのことゝなっておりますが、8年前我々のクラブが創立する前からこの事のために土屋さんご一家の温かいお世話がありました。本日の卓話は「日本留学を終えて」という趙南元さんのお話があります。

・本日は大和青年会議所の方々が大和市民まつりに於ける“ミスやまとコンテスト”に対する援助依頼に見えておられます。

大和青年会議所 薩田信次郎理事長

いつもロータリークラブの皆さまにはお世話になっております。本日は第2回ミスやまとコンテストに対します皆さまの御支援ならびに大和青年会議所会員拡大についてのお願いに参りました。どうぞ宜しくお願い致します。

(ミスやまとコンテスト担当の神沢君及び会員

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926

例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より

会長：上田 利久

会長レクト：藤田 重成

副会長：富沢 重徳

幹事：近藤 富士男

会報委員：松崎・種ヶ島・木村

拡大担当横沢君よりそれぞれ協力依頼が述べられました。）

- 青年会議所の活動はロータリー活動と相通ずるものがあります。皆さまどうか暖かいご協力をお願い致します。
- ジェフマーチンを送り出しましたオーストラリアのサファーパーラダイス R. C. のMIDWUOODさんが観光ツアーで来日されました。お逢いすることは出来ませんでした。電話でちよっとお話をしました。皆さんに宜しくとの事でした。と申しますとかつてよく聞こえますが、実は火曜日の夕方 北砂さんからMIDWUOODさんが観光で日本にきておられ、8日(火)箱根、9日(水)鎌倉、10日(木)はもう帰国されるそうで例会には出られないそうだから会長から電話を一本入れておくとういのではないかとのご連絡をいただきました。私は会話には自信がありませんので渋っていましたところ練習、練習といわれまして、思案のすえ、原稿を用意し例会でしゃべる10倍もの勇気を出し帝国ホテルに恐る恐るお電話をしてお話したわけです。

ジェフは大変よい青年で我々の家庭も、クラブのメンバーの連中も皆よろこんでお世話させてもらった。少しはオーストラリアのことも理解出来たようだし、これからも友好関係を続けたいと願っている。どうかよい旅をされ、あなたのクラブのロータリアンに宜しく、という感じで会話というよう一方的な伝言といったような感じで電話を切ったわけでありませぬ。友好関係のことについてはクラブに帰って皆と考えてみましょうといったようなことをペラペラと言われた気がします。ともかく友好的な雰囲気であったことは間違いありませんでした。

電話をかける勇気を与えて下さった北砂さんに感謝致します。

《幹事報告》

- 本日例会後、定例理事・役員会を開催致しますので宜しくお願い致します。

《委員会報告》

国際奉仕委員会 委員長 後藤定毅君

過日御報告してあります通り、オーストラリアのマーメイドビーチ・ロータリークラブへ贈るジェフマーチン君の発案になる「100ドルボックスの中味は、現在の日本ではすでに古典的な品物になってしまいましたが、外国へ初めて贈る品物としては装飾品としてふさわしいと思いますので、次の品物といたします。「蛇ノ目傘」「ポックリ」「足駄」「子供用男女下駄」以上4種類5点です。尚この品物については、富沢会員に大変お世話になりましたので、御礼かたがた皆様に御報告いたします。

ゴルフ同好会 委員長 松本三郎君

来る16日(水)の四クラブゴルフコンペの組合せ表を本日まで出席者の方々に配りしてあります。当日の配車はのちほど連絡致します。尚5月5日開催の当クラブコンペは今の処まだ2名余裕がありますので都合のつきます方はお申し出下さい。

会長エレクト 藤田重成君

来る5月11日(日)に第259地区協議会が神奈川大学で開催されます。当日は市民まつりと重なりますが、出席義務者の方々に宜しくお願い致します。出席義務者は次期会長・幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の各理事会員増強、広報、雑誌、ロータリー財団、米山記念奨学の各委員長及び新会員2名の14名です。

《お祝》 おめでとうございます！

御夫人お誕生日 後藤定毅君 久子夫人 (4月11日)
結婚記念日 土屋翁三君 (4月8日)
高橋政勝君 (4月10日)

《ゲストスピーカー》 趙 南元氏

「日本留学を終えて」

紹介：趙さんは昭和54年来日し東京工大で学び現在まで7年間滞日し2回北京へ帰られただけで勉学に励んでおられ今月中国へ帰られ大学で教鞭をとられることになっております。何でも日本語で上手に話せますので皆様からのご質問もどしどしして下さい。(土屋)

日本にきましてからずっと大和中ロータリークラブの皆様からの暖かい友情に接しており、大変感謝しております。

日本で長いこと生活しておりますと、いろいろな生活面での違い、習慣の違い、考え方の違いなど沢山あることに気がつきます。中には日本の悪口をいったりする人もあります。いつかテレビで見たのですが、外人が日本にきての「日本のワースト10」というのを述べていました。堂々と悪口が言えるということは日本の言論の自由にもよるのですが長いことここにいますとそういう悪口は聞いていて、本当にそうだろうかと考えなければいけないと思います。例えばワースト10の中での一番印象的だったのは「立ちしょうべん」です。これは外人からみると大変文明に反することだと思いますが、私自身の考え方では、そういう風俗とか習慣がある方がずっと便利だと思います。いやなことを見てイヤだなと思う人は、自分がその立場になったらどうするかという事を考えなければいけないと思います。外国に行って自分のあたりまえを相手に要求するのは非常におかしいことだと思います。違う所に住んでいる人には違うあたりまえがあるので。国際理解の第1の原則は、自分と違うものはすべて悪いという考え方はいけないということです。たとえ同じ国でも場所が変わると風俗がかわるのでその地域に入ったらその地域の風俗に従うという考え方をもつことです。中国でも同じ国の中にも色々な民族があり、色々な場所があり、例えば異民族の中に入ったら、

まず、その習慣を聞かなければなりません。

日本にきたら日本のあたりまえは覚えなければいけないと思うのです。だから悪口を言っている人は恐らく日本のあたりまえが解っていないか、或は自分の当り前だけが世界に通用するとか思いこんでいる人が多いのではないかと思います。

人間は変わった環境に入ったら、先ずその環境に適応しなければいけないということです。勿論適応するという間にはいろいろな失敗があると思います。私もイトーヨーカ堂に買物に行った時、試食宣伝販売をやっているものに対し、もうすこし柔らかくした方がよいのではないかという意味で自分では好意的に「すこし固い」と言ってしまったらすごく怒りました。そこで、成程こういう時には絶対相手の悪いところを言わないのが習慣になっているということに気がつきました。それが大変良くわかってきて、それが良い事か悪い事か、とにかく他の所とは違うということが解ってきました。自分がこういう社会に住んで慣れてきたら、悪いことは言われぬ方がずっと生活は楽だと感じています。

最近、研究所とか仕事上の研究でいろいろやっていますが、1つの大きな問題として人間はどうやって考えているかというような面白い問題を考えてみました。確かにコンピュータについてはあくまでも欧米人がつくったもので、私が学校にいた時、ある教授が「コンピュータというものはヨーロッパ人とか西洋人とかが作ったものですから我々東洋人がそれを作ろうとしたら必ず違うものになるのではないか、考え方がかなり違うから」といわれました。

今の世の中はあくまでも論理ですが人間が考えている時本当に論理で考えているのかどうかあやしいと思うのです。論理とか理論とかそういうものがあってから人間が考えはじめたのか、それとも人間が先ず考えてから論理があったのかそれは論理があとであるということが解ってきました。

どんな学問でも論理でも、それを根本的に追求したら必ず論理で解決出来ないものが出てくる。だから理論をつくるのは、あくまでも、理論は人間の考え方を指導するのではなく、単に解釈しているだけです。人間には一つの考え方がある、それを相手に説明したい。或は自分がかたく信じていたいという気持ちで理論をつくってしまうのです。だから理論によって人間は生活していくのではなくて、人が先ず生活していて興味があれば理論で解釈する。それだけなのです。そういう面でも違う国の人は恐らく同じような理論が通用することは出来ない面が多いのではないかと思います。中国でも昔、文化大革命というのがあり、その時一番不思議だと思っていたことは、いろいろな派があって、みんな自分が毛沢東思想に一番忠実であるといってお互いに攻撃し、戦争をしているので、同じ毛沢東の理論を信じていてどうしてお互いに戦う必要があるのかと思いました。しかし、それも今考えてみるとあゝなるほど……と思います、というのは、もともと毛沢東の考え方といっても自分の理論を合理化するために使っているだけなのです。

だからやはり国際間の理解は単なる論理でどちらが正しいということを判断することは原理的には出来ないことなのです。同じ国の中でも違う所の人とか違う経歴の人とか、自分の生き方があるのです。自分の信仰があるのです。自分のやりたいことがあるのです。それだけです。どちらが正しいかそれは言えないのです。だから、こういう国の人とかこういう生き方、あゝいう国の人とかあゝいう生き方なのです。恐らく世の中自分だけ正しいと思う人は、世の中を渡れないのではないかと思います。

変った環境で長くいるのでそういう感想が浮かんできました。

— このあと「中国の学校の制度」「子供のいじめ問題について」「子供の保育について」

「六・六・四制について」「手づくりについて」等々いろいろな質問にも答えていただきました。 —

上田会長：さすが国際人でいらっしゃる、新しい当りまえ、違う当りまえ大変示唆に富んだお話でございました。人間が生活しているその間に論理が出てくるのだということ。

必ずや中国の素晴らしいリーダーになれるものと信じております。ご健康とご発展をお祈り致します。

《スマイルボックス》副委員長 石渡英二郎君

大和青年会議所 ①大和市民まつり ミスやまこ
コンテストの出演者 協賛企業大募集の件
②大和青年会議所会員拡大の件 それぞれ宜しく
お願い致します。

宮田貞之君（綾瀬）暫らくぶりにお邪魔致します。
田形隆一君（横浜瀬谷）初めてお世話になります。
木我 寛君（横浜瀬谷）久しぶりにお世話になります。

大田太郎君（相模原西）初めてお邪魔しました。
お世話になります。

星 幸男君（大和）本日も宜しく。
浜野忠良君（大和）お世話になります。

亀山 洸君（大和）久しぶりです。宜しく
お願い致します。

小森 侃君（大和）お世話になります。宜しく
お願い致します。

齊藤忠一君（大和）本日も宜しく。
竹中滋治君（大和）久しぶりにお邪魔しました。
本日も宜しく申し上げます。

南雲浩一郎君（大和）お世話になります。

木我 寛君（横浜瀬谷）久しぶりにお世話
になります。